

令和6年度 事業計画書（駒方寮）

1. 事業運営基本計画（事業目標）

- (1) 子どもたちの安心・安全な生活保障と最善の利益追求
- (2) 職員の資質向上と誰もが働きやすい職場環境の整備
- (3) 地域共生に向けた連携強化と地域貢献の推進
- (4) 名古屋市社会的養育推進計画に基づいた施設整備と体制強化

2. 具体的計画

- (1) 子どもたちの安心・安全な生活保障と最善の利益追求
 - ①第三者評価の受審結果を踏まえ、業務改善に向けたPDCAサイクルの組織的浸透を図り、標準的な実施方法の確立に向けて着手した「基本方針」を試行し不具合の修正に努めます。また、子どもの権利擁護については、SV及び権利擁護委員と協同し、定期面接等を通じて権利侵害防止と主体的な生活支援を行います。〔リーダー会議/性教育/子ども集会 等〕
 - ②日常の中で五感（視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚）に働きかける様々な生活体験を積み重ねる機会を得ることで、最善と思われる働きかけを各部で企画・継続し自立後の生活支援に繋がります。〔名養協担当/FSW/個別対応/心理療法担当/自立支援担当/美化担当 等〕
 - ③より勤務実態に即した避難訓練と備品の取扱いで、大人と子どもの防災意識を高め安全を確保します。継続して防災用品や連絡・集散体制の見直し等、BCP（事業継続計画）実施体制を整備します。〔災害対策委員（法人）/危機管理・防災委員会 等〕
- (2) 職員の資質向上と働きやすい職場環境の整備
 - ①子どもたちの養育を実践する上で専門性向上は必須課題の為、施設の高機能化・多機能化と個々の能力・経験に応じて研修へ参加し、また他分野・他施設等との相互交換研修等を企画する。〔三法人連携室員（法人）/リーダー会議/福祉セミナー実行委員 等〕
 - ②労働安全衛生に基づき、働き続けやすい環境づくり（メンター制度・業務省力化・ペーパーレス化・職員SV・5S活動等）に努め、メリハリある働き方で個人有給休暇消化率30%及び勤怠管理システムの本格稼働を目指します。〔労働安全衛生委員（法人）/両立支援・労働安全衛生委員会 等〕
 - ③職員ストレスやメンタル不調への理解を深める取組み（ストレスチェック・研修等）を通じ、適切な対処方法や予防策を検討し職員の安全配慮に努めます。〔運営会議/リーダー会議〕
- (3) 地域との共生に向けた連携強化と地域貢献の推進
 - ①地域の町内会・子どもクラブへの職員派遣はもとより、社会福祉法人としての“公益性”に資する子育て支援機能の連携・強化に向け、困りごとの解決・備品の貸出し・施設の開放・講演会開催等に応えられる体制づくりを進める。〔運営会議/地域貢献委員会 等〕
 - ②地区委員会を通じ地域内パトロール、地域行事への参加又は主体的な企画・運営、分団登校時の付添等を通じ「見守り」機能を果たすことで、子どもたちにとって住みやすい地域づくりを推進する。〔地域貢献委員会/危機管理・防災委員会/地区委員会 等〕
 - ③定員外まで付帯事業（一時保護、ショートステイ及びレスパイト事業）を活用するとともに、「ハチドリチャレンジ」（職員会議日の地域清掃）の遂行を通じて「SDGsの理念（持続可能な開発目標）」に寄与します。〔社会貢献事業室員（法人）/各部会議/広報担当 等〕
- (4) 名古屋市社会的養育推進計画に基づいた施設整備と体制強化
 - ①本体の小規模かつ地域分散化推進のため、3か所目となる地域小規模児童養護施設の整備について検討するプロジェクトチームを設置し協議を重ねる。
 - ②施設の高機能化及び多機能化に向け、重層的支援体制整備事業を通じて区社協・学区社協への協力及びその他社会資源を担う関係機関・団体等との連携を更に深め、子育て世帯等地域からの信頼獲得に努める。〔運営会議/リーダー会議/地域貢献委員会 等〕